

都市再生緊急整備地域

# 新潟都心地域の目指す姿



令和3年11月

新潟市

新潟都心地域の目指す姿に掲載しているイメージパース等については、地権者・ビル所有者など権利者の計画、構想などを反映したものではありません。目指す姿が実現した一例として本市がイメージしたものです。

# 新潟都心地域の目指す姿

## 目 次

はじめに	p.1
1. 都市再生緊急整備地域とは	p.2
2. 新潟都心地域の目指す姿の位置付け	p.3
3. 目指す姿の実現に向けた5つのキーワード	p.4
4. 地区別の目指す姿	p.10
■資料編	
参考1 都心軸周辺エリア「にいがた2km」のまちづくり	p.18
参考2 にいがた2km STREET VISION	p.19
参考3 新潟都心地域 地域整備方針	p.20
参考4 資料用語解説集	p.22
参考5 都市再生緊急整備地域指定等に関する経緯	p.24





## はじめに

本市は、古くから港町として栄えてきた新潟湊のまちと、舟運でつながり生活・生業の中心として栄えてきた複数の在郷町とが広域合併で一体となって、2007年には本州日本海側で唯一の政令指定都市となり、拠点性の向上に向けた施策を推進してきました。そして現在、「暮らしやすいまち」「訪れたいまち」「ビジネスを展開するまち」として、「選ばれる都市 新潟市」の実現を目指しています。

これまで本市の都心エリアにおいては、立地適正化計画を策定し都市機能の強化・集積を進めてきたほか、開港150年を契機として、県と市が共同で「新潟都心の都市デザイン」を策定し、新潟駅から古町までの都心軸を中心としたまちづくりを進めています。

一方、都心エリアには、老朽化した建物や旧耐震基準の建物が多く残り、安心安全で災害に強いまちづくりを進めていく上で支障となっているほか、新進企業が求めるオフィスが不足するなど、さまざまな問題が顕在化しています。

本市は、こうした問題に取り組むとともに、都心エリアをさらに活力あるエリアへと発展させていくため、新潟駅周辺－万代－古町をつなぐ新たな都心軸周辺エリアを「にいがた 2 k m」と名付けるとともに、「都心のまちづくり推進本部」を設置し、官民協働のまちづくりを進めています。国から指定を受けた都市再生緊急整備地域に関する取り組みは、都心のまちづくりの中核的な事業の1つであり、本冊子は、都市再生緊急整備地域の指定を活かしたまちづくりについて、「目指す姿」を将来イメージなども交えながらお示しするものです。

本市は、今後も市民の皆さまをはじめ開発関係者の皆さまとともに、都心エリアの都市機能の集積やまちの魅力創出、賑わいづくりに取り組みます。そして、「にいがた 2 k m」を緑あふれ、人・モノ・情報が行き交う活力あるエリアとして活性化するとともに、都心エリアが市内8区と連携し、市の経済・産業の発展をけん引する「成長エンジン」となるよう、まちづくりを進めていきます。

結びに、新潟都心地域の都市再生緊急整備地域指定や「地域整備方針」の素案作成に向けて、熱心にご議論いただいた準備協議会の委員の皆さまをはじめ、懇談会や各種アンケートなどにご協力いただきました市民の皆さま、関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。

令和3年11月  
新潟市長 中原 八一